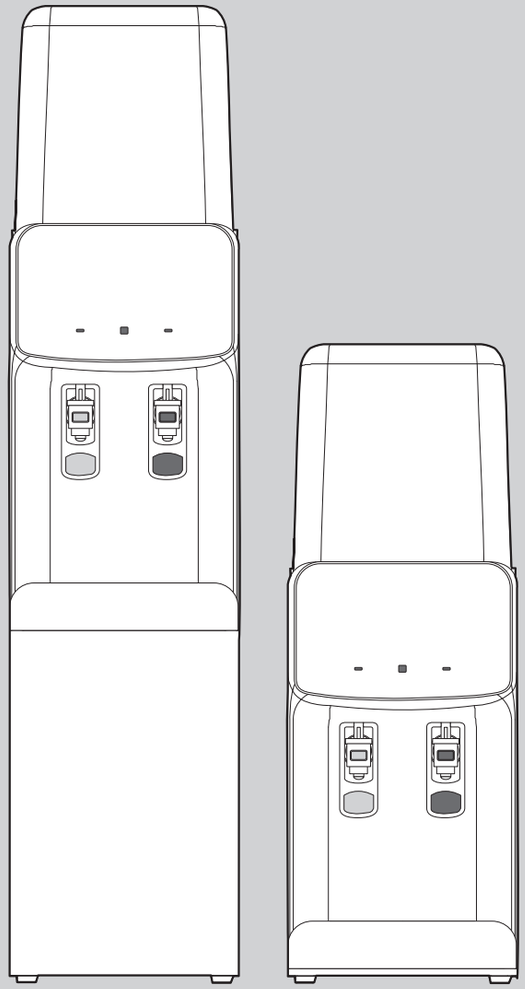
HOT/COLDウォーターサーバー

# 取扱説明書




■安全上の注意 …… 2

■設置場所について …… 3

■各部のなまえ・はたらき …… 4

■初期設置の手順 …… 6

■ウォーターボトル交換方法 …… 9

■おいしく飲んでいただくために …… 10

■仕様／故障かな？と思ったら …… 11


本取扱説明書は事故を防ぐための注意事項と
製品の取り扱い方を記載しております。
ご使用の前に必ず本書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。お読みになったあとは
いつでも見られる所に保管してください。

**型式 WFD-1700**


**お問い合わせ窓口のご案内**

お客様サポートセンター

**0120-800-026**

平日／9:00～20:00　土日・祝日／9:00～17:00 ※年末年始は除く



W1700-F-2

# 安全上の注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

| | |
|---|---|
| 「禁止」を示します。 | 「必ず守っていただく行為」を示します。 |
| 「電源プラグを必ずコンセントから抜いてください」を示します。 | 「ふれないでください」を示します。 |
| 「分解しないでください」を示します。 | 「アース設置」を示します。 |

＊お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 据え付け上の注意事項

### ⚠ 警告　誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

厳守
■床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。
■**たこ足配線をしないでください。**定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

禁止
■水のかかる場所や湿気の多い場所には据え付けないでください。
漏電により、感電や火災の原因になることがあります。

アース設置
■アースを確実に取り付けてください。故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。
アース工事は、最寄りの電気工事店に依頼してください。

### ⚠ 注意　誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

禁止
■油・可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へは設置しないでください。
万一漏れてウォーターサーバーの周辺に溜ると、発火の原因になることがあります。

## 使用上の注意事項

### ⚠ 警告　誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

禁止
■電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるい時は、使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になることがあります。
■電源プラグをウォーターサーバーの後面で押し付けないでください。
電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。
■濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
■本体に水をかけないでください。電気部品に水がかかると感電や火災の原因になります。
■定格電圧（単相100V）以外で使わないでください。定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
■製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。転倒・落下によりケガや破損の原因になることがあります。

厳守
■電源プラグはコンセントにプラグの根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。
異常発熱や火災の原因になることがあります。
■製品は室内用ですので室外には設置しないでください。

禁止
■可燃性スプレーを近くで使わないでください。電気接点のスパークで引火するおそれがあります。
■温水運転時、子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わないでください。やけどをするおそれがあります。
■水の入っていない状態でHOTスイッチを入れないでください。安全装置がはたらきHOTスイッチが自動的に切れ、作動しなくなります。
■転倒させないでください。お湯が流れ出て、やけどをするおそれがあります。
■傾けたり、ゆすったり、お湯を入れたままで移動しないでください。お湯が流れ出てやけどやケガをするおそれがあります。

厳守
■可燃性ガスなどのガス漏れがあった時には、ウォーターサーバーやコンセントには手を触れず、窓を開けて換気してください。
引火爆発し、火災ややけどの原因になることがあります。

プラグを抜く
■焦げ臭いなどの異常がある場合は、すぐに運転を停止して、電源プラグを抜き、販売代理店又は、当社お客様サポートセンターにご相談ください。異常のまま運転を続けますと故障や感電・火災の原因になります。

## 使用上の注意事項

### ⚠ 警告　誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

接触禁止
■給湯時や排水時にお湯に手を触れないでください。やけどをするおそれがあります。
■運転時に、ウォーターサーバー背面の放熱パネルなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

## 使用上の注意事項

### ⚠ 注意　誤った取り扱いをした時に、状況によっては重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

禁止
■電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、また重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
■当社製品以外の飲料は入れないでください。機械の故障をまねいたり、水質が劣化する場合があります。

プラグを抜く
■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

厳守
■長期間ご使用にならない時は、必ず、冷水・温水とも排水し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
水の腐敗や絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

## 修理時の注意事項

### ⚠ 警告　誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な事故に結びつく可能性が大きいもの

分解禁止
■修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作して、ケガをすることがあります。

# 各部のなまえ・はたらき

## 〈ウォーターサーバー 正面〉

**光センサー**

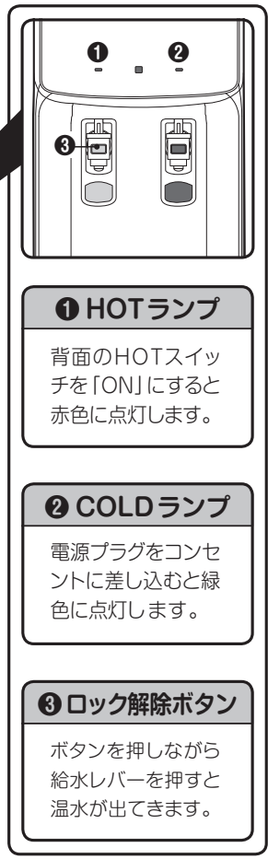
背面のECOスイッチを“ON”にすると光を感知し、室内が暗くなるとECOモードになります。

**クリーンキャップ**

コックの衛生を守ります。（定期的に取り外してお手入れしてください）（▶P.10）

**ボトルカバー**

ウォーターボトルに被せてください。



**❶ HOTランプ**

背面のHOTスイッチを「ON」にすると赤色に点灯します。

**❷ COLDランプ**

電源プラグをコンセントに差し込むと緑色に点灯します。

**❸ ロック解除ボタン**

ボタンを押しながら給水レバーを押すと温水が出てきます。



卓上タイプ（S）

床置タイプ（L）

**温水レバー**

ロックを解除し、レバーを押すと温水が出てきます。

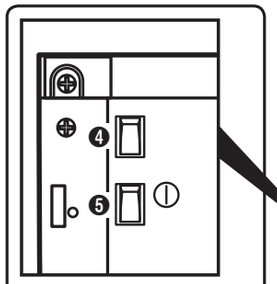
**ドリップトレイ**

漏れた水を受けます。手前に引くと取外しができます。（定期的にお手入れください）（▶P.10）

**冷水レバー**

レバーを押すと冷水が出てきます。

## 〈ウォーターサーバー 背面〉

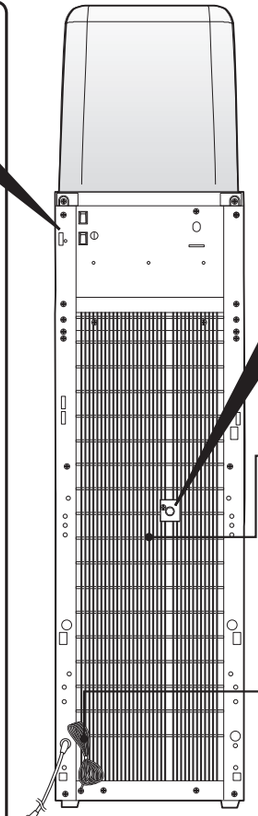


**❹HOTスイッチ**

電源プラグをコンセントに差し込んだ後、スイッチを「ON」にします。

**❺ECOスイッチ**

光センサーのON／OFFを切り替えます。HOTスイッチが「ON」の状態でECOスイッチを「ON」にするとHOTランプがオレンジ色に点灯します。室内が暗くなるとHOTランプが緑色に点灯して、ECOモードになります。



**排水キャップ(黄色)**

温水タンクの排水口です。※「長期間（2週間）使用しないとき」のみに使用します。（▶P.11）

**放熱パネル**

冷却運転中は熱くなりますが、故障ではありません。手や物が触れないように注意してください。

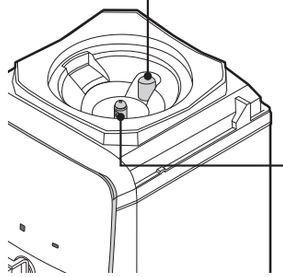
**アース**

故障や漏電のとき感電を防止します。

**電源プラグ**

コンセントに差し込むと、冷却機能が作動します。

## 〈ボトル接続部〉



**エアキャップ**

中にフィルターが装着されていて、冷水タンクにエアーを送ります。

**受水棒**

ウォーターボトルと接続し、タンクに水を送ります。

**ウォーターボトル**

**ボトルカバー**



**コック回転防止ロック**



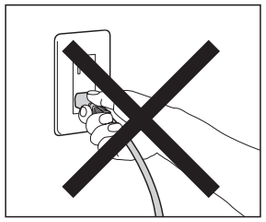
**チャイルドロックカバー**

# 初期設置の手順

**⚠厳守**

**●手順7まで電源プラグは差さないでください。**

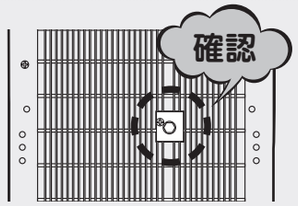
※給水前に電源プラグを入れると空焚きの原因になります。



## 設置場所について

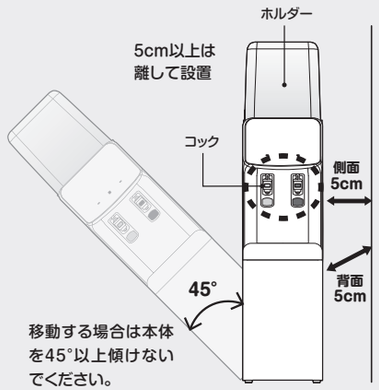
### 1 排水キャップの確認

輸送中に背面の排水キャップがゆるむことがあります。
しっかりと締まっているかご確認ください。
※ゆるんでいると水漏れの原因になります。




### 2 設置場所

❶放熱パネルが高温になるため壁や家具から背面および左右側面を、5cm以上離して設置してください。
❷必ず安定した平らな場所に設置してください。
❸寝室など音が気になる場所に設置しないでください。
❹直射日光のあたる場所、ヒーターやストーブなどの高温になる場所、湿度の高い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所では使用しないでください。
❺室内用ですので、室外には設置しないでください。

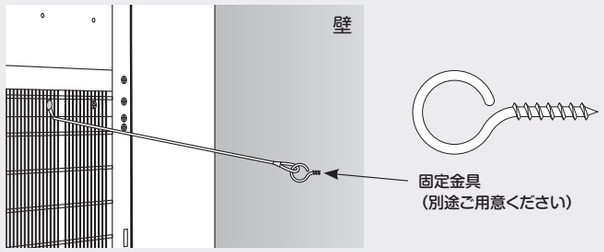



### 3 移動の仕方

❶移動する場合は本体を45°以上傾けないでください。
❷ホルダーが外れたり、冷水・温水が出る恐れがありますので移動の際にホルダーやコックを持たないでください。

## 転倒防止ワイヤーの設置

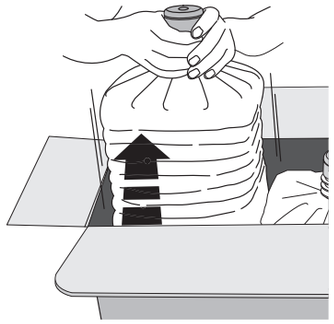
地震や振動による転倒を防止するため、
ウォーターサーバー背面に付いている
ワイヤーを壁に固定してご使用ください。








## 1. 箱からウォーターボトルを取り出す

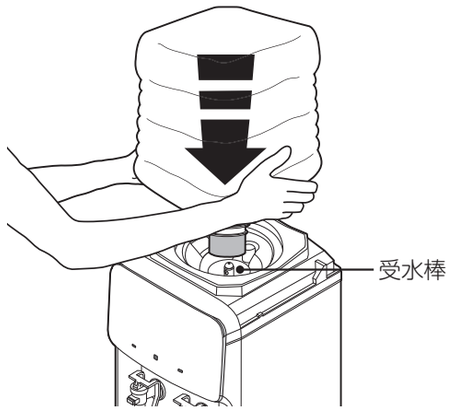


## 2. ボトルキャップの衛生シールをはがす

**⚠注意** 水色のキャップは絶対に外さないでください。

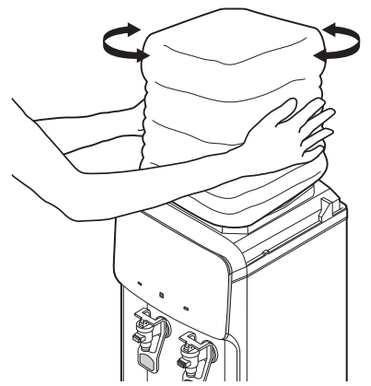
## 3. ウォーターボトルをウォーターサーバーのボトル差込口（受水棒）に合わせ垂直にセットする

※正常にセットされないと水漏れの原因となります

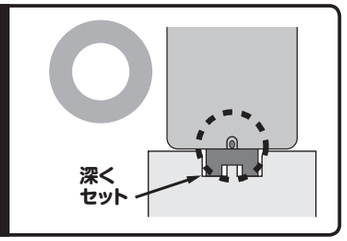



## 4. ウォーターボトルに手を添え、左右に軽く2・3回ゆすり、ボトルの差し込みが深くなるようにする

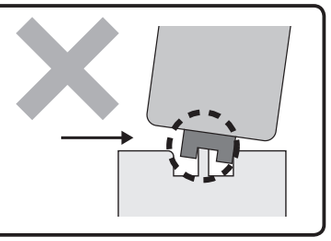
※ボトルが正常にセットされるための確認作業になりますので、必ず行ってください



**正常にセットされている場合**

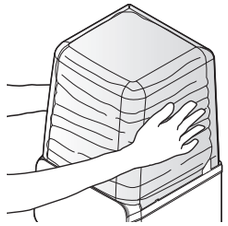



**セット不良の場合**



# 初期設置の手順

## 5. ボトルカバーをかぶせる



## 6. 出水確認を行う

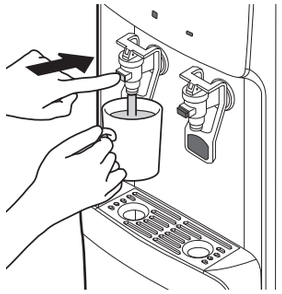
**⚠重要**

温水コックからコップ1杯ほどの水を出す。
その後、冷水コックからもコップ1杯ほどの水を出す。(出した水は捨ててください)

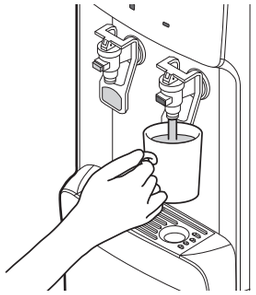
※温水コックから水が出るまで数十秒かかります。

**⚠厳守**

電源を接続する前に、冷水コックと温水コックから水が出ることを必ず確認してください。



ロック解除ボタンを押しながら温水レバーを押込むと水が出てきます。

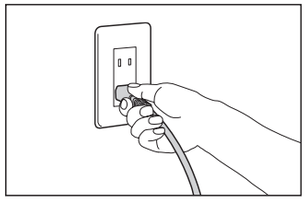


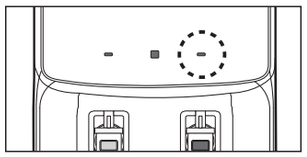
冷水レバーを押込むと水が出てきます。

## 7. 作動を開始する

**冷水**

電源プラグをコンセントに差し込む

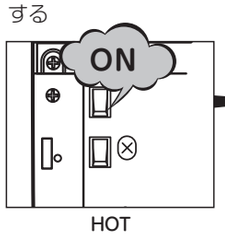




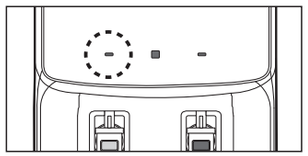
COLDランプが緑色に点灯

**温水**

背面のHOTスイッチを「ON」にする




HOT

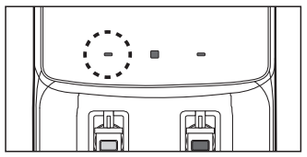


HOTランプが赤色に点灯

**ECOモード**

背面のHOTスイッチを「ON」にした後ECOスイッチを押す(必要に応じて)

ECO



HOTランプがオレンジ色に点灯

**約45分で適温になります。**

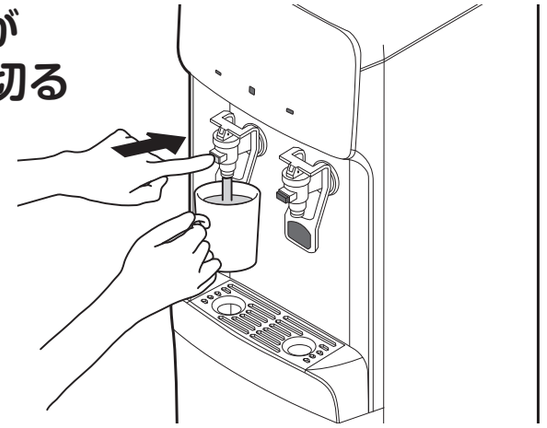




# ウォーターボトル交換方法

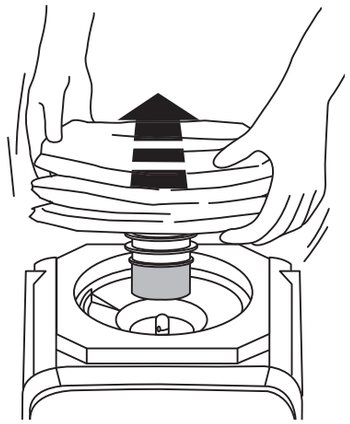
## 1. ウォーターボトルの水がなくなるまで水を出し切る

※水が残っていると、ウォーターボトルを取り外した際にこぼれる可能性があります。



## 2. ウォーターボトルを取り外す

ボトルカバーを外し、ウォーターボトルを取り外します。

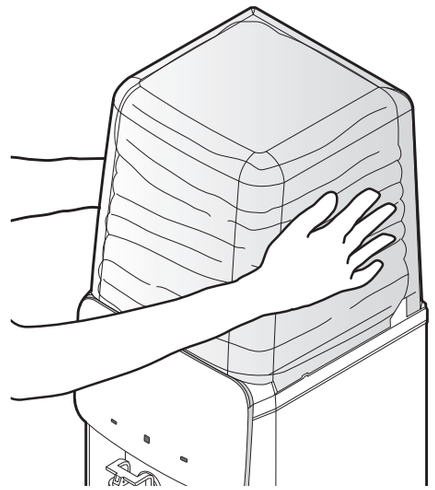


## 3. 新しいウォーターボトルをセットしてカバーをする

※「初期設置の手順2～6」と同様

**⚠注意**

※ウォーターボトルを取り外した後は、直ぐに新しいウォーターボトルをセットしてください。新しいウォーターボトルがない場合は、空のウォーターボトルを取り外さないでください。

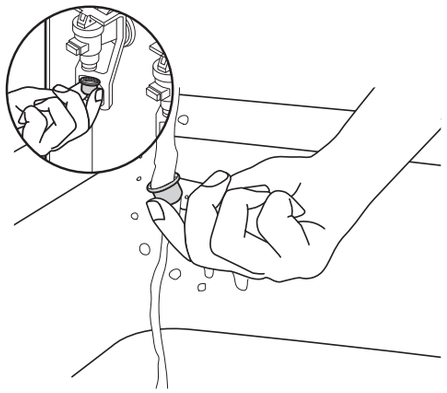


※開封後は、14日間を目安に飲みきってください。

## 日常のお手入れの仕方

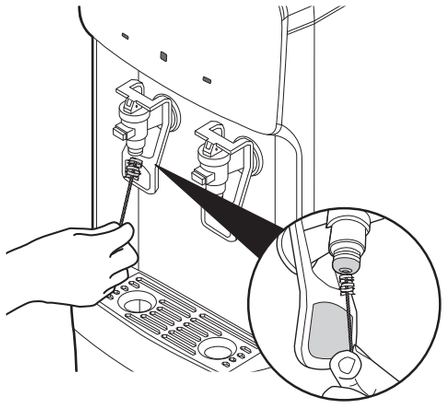
### クリーンキャップ ※1週間に1回

クリーンキャップを左に回して取外し、水洗いしてください。



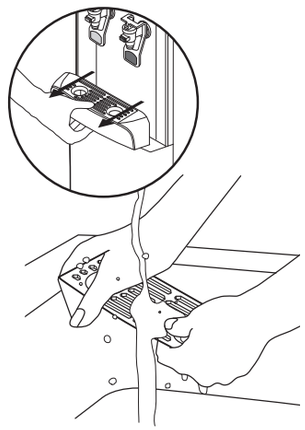
### インナーノズル ※1週間に1回

ブラシや綿棒をノズルに差し込み、よごれを取り除いてください。



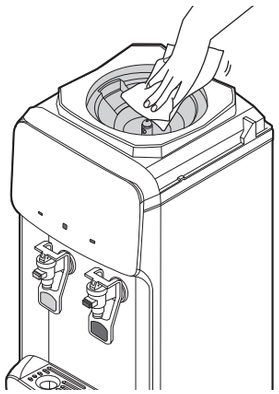
### ドリップトレイ ※1週間に1回

中性洗剤で汚れを落とした後、よくすすぎ、乾いた布で拭いてください。ドリップトレイは手前に引くと取り外せます。



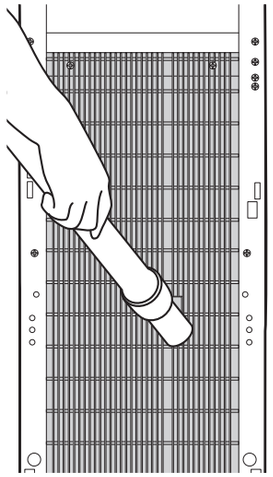
### 受水棒周辺 ※ボトル交換毎に

ウォーターボトル交換時に市販のアルコール系衛生剤などで清掃してください。
※溜り水はキッチンペーパーなどで必ず拭き取ってください。



### 背面放熱部 ※半年に1回

掃除機や布で底部や放熱部に付着した、ちりやホコリを取り除いてください。







## 仕様

卓上タイプ（S）

| 製品 | | 冷・温水器 |
|---|---|---|
| 温度調整機 | | 自動 |
| 定格 | | 100V, 50～60Hz |
| 型式 | | WFD-1700S |
| 外形寸法（mm） | 本体（mm） | 300（W）×340（D）×570（H）<br>ボトルカバー取付時 825（H） |
| | 外箱（mm） | 310（W）×370（D）×603（H） |
| 重量（kg） | 本体 | 15kg |
| | 梱包時 | 16.4kg |
| 消費電力 | | 80W／350W |
| 温度範囲 | 冷水 | 3.5～8.0℃ |
| | 温水 | 80～90℃ |
| 容量 | 冷水タンク | 3.8ℓ |
| | 温水タンク | 1.5ℓ |
| ヒューズ | | 125V, 10A |
| 安全装置 | | BIMETAL |
| 冷媒 | | R-134a |
| 冷媒量 | | 30g |

床置タイプ（L）

| 製品 | | 冷温水器 |
|---|---|---|
| 温度調整機 | | 自動 |
| 定格 | | 100V, 50～60Hz |
| 型式 | | WFD-1700 |
| 外形寸法（mm） | 本体（mm） | 300（W）×330（D）×1025（H）<br>ボトルカバー取付時1280（H） |
| | 外箱（mm） | 310（W）×370（D）×1058（H） |
| 重量（kg） | 本体 | 17.5kg |
| | 梱包時 | 19.6kg |
| 消費電力 | | 80W／350W |
| 温度範囲 | 冷水 | 3.5～8.0℃ |
| | 温水 | 80～90℃ |
| 容量 | 冷水タンク | 3.8ℓ |
| | 温水タンク | 1.8ℓ |
| ヒューズ | | 125V, 10A |
| 安全装置 | | BIMETAL |
| 冷媒 | | R-134a |
| 冷媒量 | | 28g |

## 故障かな?と思ったら

| 現　象 | 確　認 | 対　策 |
|---|---|---|
| COLDランプが点灯しない | ●電源プラグが確実に接続されていますか? | ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 |
| HOTランプが点灯しない | ●HOTスイッチがOFFになっていませんか? | ●HOTスイッチをONにしてください。 |
| 水が冷えない | ●本体がストーブやガス機器、又は直射日光があたる暑い場所に設置されていませんか?<br>●本体が壁面に近づきすぎていませんか? | ●涼しい場所に移動してください。<br>●本体を壁面より15cm以上離してください。 |
| お湯が熱くならない | ●HOTスイッチがOFFになっていませんか?<br>●初回、ウォーターボトル設置前にHOTスイッチをONにしませんでしたか?（空焚き防止機能が働いている可能性があります） | ●HOTスイッチをONにしてください。<br>●お客様サポートセンターにお電話ください |
| 通常使用中に異音が発生する | ●平らな場所に設置されていますか?<br>●本体と接触している物がありませんか? | ●安定した平らな場所に移動してください。<br>●接触している物を取り除いてください。 |
| 初回設置時に煙が出てきた | ●初回、ウォーターボトル設置前にHOTスイッチをONにしませんでしたか?（空焚きしている可能性があります） | ●空焚き防止機能が働いてる可能性があるため お客様サポートセンターにお電話ください。 |
| **水とお湯の出が悪い（もしくは出ない）** | **●ウォーターボトルが空になっていませんか?**<br>**●ボトルからの給水が少なくなっていませんか?** | ●新しいウォーターボトルに交換してください。 |

■上記「故障かな? と思ったら」をよくお読みいただき、再確認願います。その上でなお不具合がある場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

## 長期間（2週間以上）使用しないとき

1. HOTスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、2時間ほど放置してください。（温水の温度が下がるのを待ちます）
2. 冷水レバーを押してコックからタンク内の水を排水します。
3. 製品背面にある排水キャップを外し温水を排水します。水が出なくなったら排水キャップを取り付けます。
4. ウォーターボトルを取り外します。
5. 製品各部に残っている水気を完全に拭き取ってください。（水気が残っていると悪臭やサビの原因になります）
6. サビやほこりなどで故障するおそれがありますので、ボトルカバーを取り付けておいてください。
7. 再使用する時は、「初期設置の手順」（▶P.6～P.8）に従ってウォーターボトルを設置してください。